

科目名 Course Name	ピアノレパートリー Piano Repertory			ナンバリング No.	K4-012		
年次	2年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	中沢 充恵 川田 将人						
連絡先(質問等)	講義棟1階、オフィスアワー(水・金) 電話番号・メールアドレスは授業中に指示						
必修/選択	選択(保育士養成課程選択)						
関連 DP	DP2,DP3,DP4						
授業の概要と 到達目標	<p>音楽を通して幅広い表現活動を可能にするために、ピアノ演奏および弾き歌い、伴奏法の習得を図る。授業では様々なジャンルから受講生の希望する楽曲、また採用試験での課題や内定先から提示された楽曲の指導も積極的に行う。保育現場で実践できるレパートリーを増やし、子どもたちの情操を養うことのできる音楽表現を目指す。</p> <p>この授業の到達目標は以下の4つである。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 楽曲の内容や指導のねらいを持って、子どもたちに表現指導ができるようにする。 ② 楽語や記号、フレージングなど楽譜からの情報を豊かな表現に繋げることができるようにする。 ③ コードネームの基本を理解し、簡単な伴奏で多様な幼児曲を演奏することができるようにする。 ④ 人前で演奏することを意識したピアノ伴奏、保育者としての意識を持った弾き歌いをするようにする。 						
授業の方法	ピアノ実技を中心とした演習(実技)形式で行い、受講生は個人レッスンを受け、弾き歌いの実践や高度なピアノ曲の習得を目指し、レパートリーを増やす。授業内容は各学生の能力に応じた楽曲、または各自選曲した楽曲の指導を行い、発表も行う。以下には標準的授業計画を示す。						
学習成果	L01	簡単なコードを使って楽曲を演奏することができ、幼児曲の伴奏や弾き歌いに発展させることができる。					
	L02	豊かに表現する喜びを享受し、保育者として子どもたちの表現活動を指導することができる					
	L03						
	L04						
課題に対する フィードバック	個々の学生のレベルに応じて課した技術的課題について、毎回授業内でフィードバックする。						
教科書/ 参考図書	改訂 幼児のための音楽教育(教育芸術社)、就職試験課題曲、その他(自由曲)						
履修上の留意点 やルール等	●短い時間でも毎日ピアノに触れ練習すること。●使用教室への飲食持ち込み禁止とする。 ●事前、事後学習に費やす時間の目安は45分とする。						
担当教員の実務 経験	●中沢(職種:ピアノ講師 職歴:通算32年) ピアノレッスンにピアノ指導の経験を活かす。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	与えられた課題を事前事後の学習として練習して授業に臨んでいるか、レッスンの内容を実践に繋げているかを評価する。	30			
レポート/作品					
発表	担当教員の前で課題曲を演奏し、曲の難易度と表現力を50点満点で評価する。		50		
小テスト					
試験					
その他	楽曲を何曲レパートリーにできたか、進捗について評価する。		20		
合計		30	70		

回数		授業計画
1	授業内容	授業概要、評価方法、受講上の注意、担当者別による教材の選定と課題
	事前・事後学習	選定した曲を正確に読譜して完成させられるように、時間を定めて取り組む
2	授業内容	幼児曲弾き歌い 季節のうた ①どんぐりころころ
	事前・事後学習	16分音符の長さや運指に注意し、表情豊かな弾き歌いを体得する。 どんぐりころころの簡易伴奏(WEB 資料参照)
3	授業内容	幼児曲弾き歌い 季節のうた ②やきいもグーチャーパー バスごっこ
	事前・事後学習	付点のリズムや手遊びができる速さに注意しながら、表情豊かな弾き歌いを体得する。 簡易伴奏法の復習をする(WEB 資料参照)
4	授業内容	幼児曲弾き歌い 季節のうた ③あわてんぼうのサンタクロース コンコンクシヤンのうた
	事前・事後学習	右手にメロディーを置かない伴奏形の曲を拍子を崩さないようにリズムカルに弾き歌いをする。完成した曲も継続して弾く。コードの読み方や和音について(動画1参照)
5	授業内容	幼児曲弾き歌い 季節のうた ④ジングルベル 雪 コードの基本について
	事前・事後学習	調性(へ長調)を意識し、表情豊かな弾き歌いができるように練習する。完成した曲も継続して練習し、レパートリーを増やす。コードの基本の復習(動画1参照)
6	授業内容	幼児曲弾き歌い 季節のうた ⑤思い出のアルバム セブンスコード(7 th)について
	事前・事後学習	8分の6拍子の曲の流れに乗って、歌詞を大切に歌いながら演奏できるように練習する。完成した曲も継続して練習し、レパートリーを増やす。 へ長調のコード進行について(動画2参照)
7	授業内容	幼児曲弾き歌い 季節のうた ⑥1年生になったら 自由曲の選定 和音の転回形を用いた伴奏について
	事前・事後学習	右手にメロディーを置かない伴奏形の曲をリズムに注意し、付点のリズムを弾ませて演奏できるように練習する。自由曲を選定する。和音の転回形について(動画3参照)
8	授業内容	自由曲演奏①(例:ディズニー) 弾き歌いのポイント:姿勢、発声
	事前・事後学習	楽曲の構成を理解し、正確に読譜し、弾けるようにする。弾き歌いレパートリーも姿勢よく、保育現場に必要な声の大きさを歌うように練習する。 へ長調のコード進行について(動画4参照)
9	授業内容	自由曲演奏②(例:ディズニー) 弾き歌いのポイント:うたとピアノのバランス
	事前・事後学習	メロディーラインを歌い、強弱記号や速度記号にも注意しながら練習する。弾き歌いレパートリーも歌詞の内容に沿った表情豊かな歌い方をする。 マイナーコードについて(動画5参照)
10	授業内容	自由曲演奏③(例:ジブリ) 弾き歌いのポイント:リズムの取り方、演奏のテンポ メジャーコードとマイナーコードの違いについて
	事前・事後学習	楽曲の構成を理解し、正確に読譜をし、弾けるようにする。弾き歌いレパートリーもリズムに注意し、子どもたちが歌いやすいテンポで弾けるようにする。 マイナーコードについて復習し、課題に取り組む
11	授業内容	自由曲演奏④(例:ジブリ) 課題の答え合わせ
	事前・事後学習	メロディーラインを歌い、強弱記号や速度記号にも注意しながら練習する。 伴奏法(伴奏形)について(動画6参照)
12	授業内容	自由曲演奏⑤(例:さよならぼくたちのようちえん)
	事前・事後学習	楽曲の構成を理解し、楽譜からの情報に注意する。
13	授業内容	自由曲演奏⑥(例:さよならぼくたちのようちえん)
	事前・事後学習	楽曲を人前で演奏することを意識しながら完成させられるように練習する。
14	授業内容	自由曲演奏⑦ 楽曲の完成
	事前・事後学習	楽譜からの情報に注意し、豊かに表現でき、音楽的に演奏出来るように完成させる。
15	授業内容	自由曲発表 発表の講評 今後の課題 及びアドバイス
	事前・事後学習	自由曲の講評を基に、今後もレパートリーを増やす。